



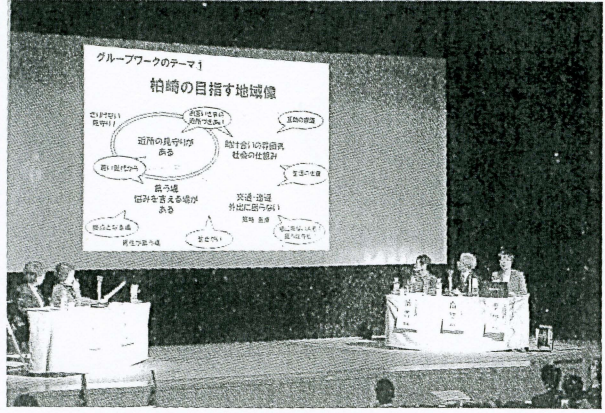
発行所 柏崎日報社
柏崎市西本町1丁目6-1
〒945-0066 電話22-3121
専売所 柏洋社 電話22-3443
1部110円 1ヵ月2,725円

地域での支え合いを考える

包括ケア フォーラムに300人

「新・幸福なまちづくり
考」地域での支え合いを考
える「フォーラム」(さわか
な福祉財団主催、県と市な
ど共催)が3日、産文会館
文化ホールで開かれた。約
300人が集まり、地域包
括ケアシステムの構築に向
け、地域での支え合いのあ

り方などを考え合った。
市では、国の介護保険制
度改正に伴う新しい総合事
業の内容を受け、本年度地
域包括ケアの検討を行う実
務検討会を立ち上げ、同財
団の協力で「生活支援サ
ービスの充実に関する研究
会」を発足させ、目指す地



域像の共有、足りないサ
ービスの検討をしてきた。フ
ォーラムは、同研究会を中
心とした実務委員会が実施
主体になり、少子化や高齢
化が進む中で、安心して生
き生きと暮らしていくため
に助け合いの地域づくりに
ついて考える機会にした。
基調講演では、元NHK
解説委員、福祉ジャーナリ
ストの村田幸子さんが「地
域の助け合い活動をどう広
げるか」をテーマに、「介
護保険ではちょっとした暮
らしの支援まではやってく
れない。ちょっとした支え
合いの仕組みが地域社会に
あるかどうかで在宅での生
活が可能になる。それには
地域住民の応援、支え合い
が必要だ」と述べた。
続くパネルディスカッシ
ョンで、金子規子さん(市
介護高齢課地域包括支援班
係長)は柏崎市の人口動態
の予測などから少子化によ
る支え手の減少などを示
し、目指す地域像として

地域での支え合いを考えるフォーラムのパネル
ディスカッションは3日、産文会館文化ホール

「近所の見守り、助け合い
の雰囲気、集う場や悩みが

言える場、交通・送迎や外
出に困らない」などを挙げ
た。
吉田建夫さん(ようんぐ
の木代表)は子育て事業
高齢者支援などの経験から
「男性が一人暮らしになっ

た時に自然に手助けができ
る環境が必要」、品田美好
さん(荒浜地区民生委員・
高齢者運動サポーター)は
「高齢社会は近くの人が助
け合うことが大切。ここで
年を取りたいという人の買
い物、通院などを支える組
織づくりをなす」と述べた。
3人の発表に、支え合い
の仕組みづくりアドバイザー
の河田瑛子さんは「人と
人がますますつながること
顔の見える関係づくりを
しなければならぬ時期に
来ている」と総括。ゴデー

ネーターの村田さんは「今
までの地域住民と行政の関
係は『私言う人、あなたや
る人』だった。これからは
『私いいます、でもやりま
すよ』という行動を示す時
代。これがプロの住民だと
思う」と締めくくった。